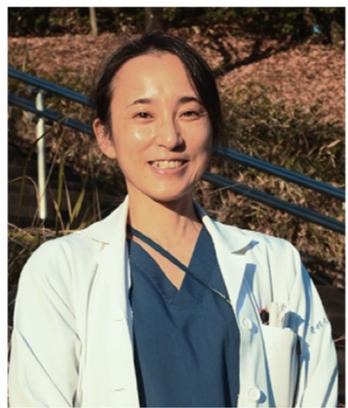


巻頭言 ー女性骨盤底センター長 着任のご挨拶ー

＜女性骨盤底センターについて＞



＜女性骨盤底センター＞
野村 由紀子 准教授

女性骨盤底センターの初代センター長 嘉村康邦教授（よしむら やすくに）の退任にあたり、2025年4月より2代目センター長に就任しました野村由紀子と申します。

女性骨盤底センターでは、「女性の骨盤底の問題」つまり「おしもの（陰部）の不具合」に対する診察や治療を行います。具体的な病名には、女性の骨盤臓器脱、尿失禁、過活動膀胱、低活動膀胱、神経因性膀胱、間質性膀胱炎、膀胱腫瘍（ぼうこうちつろう）、尿道憩室（にょうどうけいしつ）などがあります。症状は、陰部のふくらみ・脱出感・不快感・痛み、排尿の問題（尿漏れ、頻尿、尿の出しにくさ、排尿時の痛み）など、患者さんによって様々です。これらは「たいしたことない症状」と思われがちですが、程度によっては生活の質がおおきく下がります。

外出も趣味も諦めてしまったり、友達との交流まで避けてしまい家に閉じこもる方もいて、特に高齢者では筋力や認知力の低下にもつながります。女性の「おしもの不具合」は年齢が上がると共に頻度も増えるものもあり、特に高齢化の進む日本では非常にたくさんの方がわずらっているととても大事な問題です。しかし、「恥ずかしい」「どこに相談したらいいのかわからない」と、受診せずに我慢してしまう隠れた患者さんがかなりいらっしゃるかと推察されます。

当センターでは、女性骨盤底診療専門の医師（産婦人科・泌尿器科）と理学療法士がお互いに協力しあいながら診療に当たります。センター内の「骨盤底リハビリ外来」では専門の理学療法士が患者さんにマンツーマンで骨盤底筋体操指導や生活指導を行っており、手術をせずに生活の質を大きく改善できた患者さんもたくさんいらっしゃいます。

センター開設から5年が経過し、多くの患者さんから「治療によって前向きな気持ちになれた」「趣味や旅行が可能になった」と感謝のお言葉をいただくたびに、我々としても大変やりがいを感じております。前センター長が築いた礎を大事にし、かつ新しい知見も取り入れていくことで、今後も皆様に貢献してまいります。

我々の診療はていねいに時間をかけて行う必要があるため、初診は基本完全予約制になっています。予約が取りづらい状況が続いていますが、可能な限り臨機応変に対応いたします。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

P1 【巻頭言】 女性骨盤底センター長 着任のご挨拶

P2 【医学講座コーナー】 逆流性食道炎について

P3 【医学講座コーナー】 逆流性食道炎について

【お知らせ】 がん相談支援センターをご存知ですか？

P4 【患者さんからのご意見・ご要望】 【編集後記】

6月

【医学講座コーナー】逆流性食道炎について

(消化器センター 神山 勇太 助教)

逆流性食道炎とは

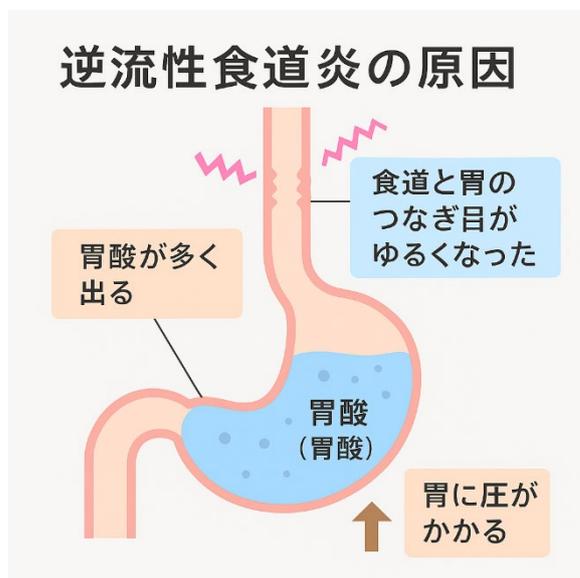
逆流性食道炎は、胃酸や胃の内容物が食道へ逆流することで、食道の粘膜が炎症を起こす病気です。近年では、食生活の欧米化や生活習慣の変化により、この病気にかかる人が増加しています。

主な症状

胸が焼けるように感じる「胸やけ」や、酸っぱい液体が口の中まで上がってくる「呑酸（どんさん）」と呼ばれる不快感があります。ほかにも、胃もたれやお腹の張り（膨満感）、咳、喉の違和感、声がかすれるなどの症状が見られます。これらの症状は、特に食後や夜間、横になったときに強く現れる傾向があります。

原因

逆流性食道炎の発症にはいくつかの要因が関係しています。まず、食道と胃のつなぎ目がゆるくなると、胃の中の内容物が食道へ逆流しやすくなります。さらに、お腹に圧力がかかることで逆流が助長されます。また、胃酸の分泌が過剰になることも、炎症の原因となります。これらの要因が組み合わさることで、逆流性食道炎が引き起こされます。



診断方法

患者さんの症状や生活習慣から診断がつくこともありますが、必要に応じて内視鏡検査（胃カメラ）を行い、食道の粘膜に炎症やただれ（びらん）がないか確認します。ただし、似たような症状を呈する病気には心筋梗塞や狭心症といった循環器系疾患のほか、食道がんや胃がん、胃・十二指腸潰瘍、咽頭炎、咽頭がんなどもあるため、慎重な鑑別が求められます。

【医学講座コーナー】逆流性食道炎について

治療方法

逆流性食道炎の治療には、薬物療法と生活習慣の改善の両面からのアプローチが必要です。薬物療法では、胃酸の分泌を抑える薬剤（PCAB、PPI、H2 ブロッカーなど）や、胃の内容物の排出を助けて逆流を防ぐ消化管運動促進薬が使われます。

一方、生活習慣の見直しも重要な治療の一環です。たとえば、食べすぎを避けることや、脂っこい食べ物、アルコール、カフェイン、チョコレートといった刺激の強い飲食物を控えることが勧められます。食後すぐに横になることは避け、少なくとも2~3時間は間隔を空けてから就寝するようにしましょう。寝る際には上半身を少し高くすると、症状が和らぎやすくなります。また、体重を減らすことが症状の改善につながるケースもあります。加えて、タバコや過度な飲酒を控えること、規則正しい食事と睡眠を心がけること、そして便秘を防いで腹部への圧力を軽減することも大切です。

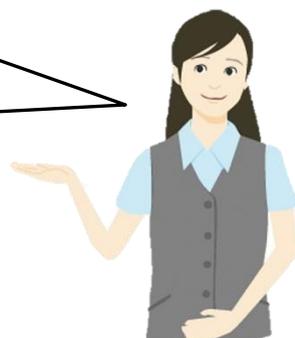
おわりに

逆流性食道炎は、正しく治療を行い、生活習慣を見直すことで改善が期待できる病気です。しかし、症状が一時的に良くなっても再発することが多いため、自己判断で薬を中止しないようにしましょう。気になる症状があれば、遠慮なく医師や医療スタッフにご相談ください。

【お知らせ】がん相談支援センターをご存知ですか？

「がん」は、日常生活を送りながら治療し、長期間にわたって付き合っていく病気になっていきます。がん相談支援センターでは、そのようながんに関する様々な悩みや相談に対し、専門の相談員が対応しております。

どのようなご相談・悩みにも丁寧に対応しますので、一人で悩まずにお気軽にお越しください！また、月に1回患者さん同士で話し合えるがんサロンを開催しております。皆さんでお話ませんか？皆様のお越しを心より待ちしております。



【場 所】昭和医科大学横浜市北部病院 中央棟 1 階 総合サポートセンター

【受付時間】平日 9 時～16 時（土日・祝日を除きます）

【予約・費用】予約は不要で無料で受け付けております。

個人の秘密や相談されたことにより不利益が生じないように配慮いたします。

患者さんからのご意見・ご要望

ご意見・ご要望	回答・改善等
デイルームに、本を 20 冊置いてほしいです。	ご意見ありがとうございます。 コロナ禍で中止しておりましたボランティアによる移動ブックサービスの再開を予定しておりますので、そちらをご利用いただきますようお願いいたします。 (回答部署：管理課)
身体障がい者用の駐車スペースに、一般車両が入っていることが多く困っています。対応してください。	ご意見ありがとうございます。 現在、身体障がい者用駐車スペースには以下の車両が駐車可能となっており、その旨、各身体障がい者用駐車スペースに掲示しております。 ① 『駐車禁止等除外標章』の許可証を貼付している車両 ② ①に準じる方が乗車している車両 ③ 病状等により、乗降及び歩行困難な方が乗車している車両 上記③の通り、病状等により一般車両が駐車する場合もございます。 以上、ご理解とご協力のほどよろしくをお願いいたします。 (回答部署：管理課)

編集後記

梅雨の季節がやってきました。気温や湿度の変化が大きく、体調を崩しやすい時期です。

この時期、薬の効き方や副作用にも影響が出やすく、普段と同じ薬でも効き方に違いが生じることがあります。湿度が高くなると、薬の成分が変化したり、服用後の体調に微妙な違いが出ることもあります。そのため、服薬管理には一層の注意が必要です。

薬の正しい飲み方や保管方法を守ることが、治療の質を高めるための大切なポイントです。少しの工夫で、より効果的な治療が可能になることがあります。体調が不安定になりがちなこの季節ですが、正しい薬の使い方、元気に梅雨を乗り切りましょう。(薬剤部 磯崎 遥 助教)



北部病院だより 第204号(2025年6月1日発行)
発行責任者 坂下 暁子(昭和医科大学横浜市北部病院長)
編集責任者 緒方 浩頭(広報委員会 委員長)
発行 昭和医科大学横浜市北部病院
〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1
電話 045-949-7000(代表)
URL：<https://www.showa-u.ac.jp/SUHY/>
北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』がご覧いただけます。